

平成 22 年 6 月 11 日

各 位

会 社 名 ロングライフホールディング株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 遠藤 正一
(コード番号 4355 大証ヘラクレス)
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 瀧村明泰
管 理 本 部 長
(TEL 06-6373-9191)

中期経営計画策定に関するお知らせ

ロングライフホールディング株式会社（本社：大阪、社長：遠藤正一、以下「当社」）は、このたび、2010 年度から 2014 年度までの 5 ヶ年の中期経営計画「中期ビジョン 2014」を策定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. グループの経営理念と中期経営計画の位置づけ

当社は、高齢化社会における介護サービスの担い手となるべく 1986 年に会社が設立され、民間介護事業者としてサービスノウハウとブランドを確立し、グループ企業の成長を図ってまいりました。「ロングライフはこんな事までしてくれるのか!」と感動してくださるお客様を一人でも多く作るという理念のもと、今後も夢と感動を届ける究極の介護サービスの追求をいたします。

介護サービスに対するニーズは年々拡大する一方、高齢者ニーズの多様化や市場への新規参入者の増加によって介護サービス業界における競争は熾烈なものとなっています。このような環境のもと、2014 年 10 月期までの 5 ヶ年を当社グループがこれまでに確立した経営資源を最大限に活用し、グループの更なる発展と新たなステージへのステップとすべく、既存事業への投資拡大と経営基盤強化を図り、シニアサービス業界のオンリーワン企業を目指していくための今後の 5 年間の具体的な道筋として、本中期経営計画を策定いたしました。

本中期経営計画の概要は以下の通りです。詳細は添付資料をご参照ください。

2. 「中期ビジョン 2014」を成し遂げるための戦略

① ホーム介護事業における新規ホームの開設

2014 年 10 月期までに新規 7 ホームを開設し、有料老人ホーム事業の拡大による収益基盤の確保を図ります。これまでに培った有料老人ホーム・グループホーム運営のノウハウを集結し、個性溢れるホームを立上げ、差別化を推進します。

② 在宅介護事業における面展開の拡大とエリア深耕

2014 年 10 月期に向け、ヘルパーステーションなど在宅介護拠点 80 拠点をドミナント戦略により新たに増設し、展開エリアを拡大します。また、展開エリアにおける顧客の深耕に注力し、シェア拡大を図ります。

③ フード事業における配食・宅配事業の拡充

食への安心・安全を維持しつつ、セントラルキッチン開設などの設備・体制の強化を図り、グループ内の配食事業のみならず、外部への宅配事業・ケータリング事業の拡充を目指します。

④ 営業体制の再構築

新規ホーム、事業拠点の拡大に伴う大幅な増収を成し遂げるために営業基盤・体制の刷新を図ります。また、営業社員を充実させ、教育・管理を徹底することによる営業体制の強化を図ります。

⑤ 会社理念浸透と個々のスキルアップのための教育の強化

お客様満足度の最大化のために社員一人ひとりに対する会社理念の浸透及び個々のスキルアップを徹底し、サービスの質の向上を図るべく社員教育を強化してまいります。

3. グループ経営数値目標

	2009年10月期（実績）	2014年10月期（目標）	対比
売上高	8,148百万円	18,000百万円	+9,852百万円（2.2倍）
営業利益	384百万円	1,700百万円	+1,316百万円（4.4倍）
経常利益	342百万円	1,600百万円	+1,258百万円（4.7倍）

以 上

本資料に記載されている将来に関する記述および数値は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

～『中期ビジョン2014』 始動～



ロングライフホールディング株式会社

2010-2014 中期経営計画

— 究極の介護サービスの追求と飛躍 —

2010年6月11日

ロングライフホールディング株式会社

代表取締役社長 遠藤 正一



注意事項



資料中の目標数値は業績予想ではありません。また、資料中の将来に係わる一切の記述内容は、現時点で入手可能な情報に基づく当社の判断によるものですが、既知・未知のリスクや不確実な要素が含まれています。さまざまな要因と変化により、実際の結果は、これら記述内容と大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

リスクや不確実性には、経済情勢の悪化、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・戦略による圧力、当社の販売力の低下、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、これらに限定されるものではありません。

目次



1. Vision ～ロングライフの不変の理念～
 2. History ～究極のサービスが創られた軌跡～
 3. Present ～ロングライフの現状と取組～
 4. Tomorrow ～ロングライフの将来～

< 2010-2014 中期経営計画 >

- A 目的
- B グループ数値目標
- C 連結子会社各社 成長に向けての戦略
- D 社会・環境・社員への取組み(CSR)



1. Vision

～ロングライフの不変の理念～



1. Vision ～ロングライフの不変の理念～



『ロングライフは
こんな事までしてくれるのか！』
と感動してくださるお客さまを
一人でも多く作るという理念のもと、
シニアサービス業界の
オンリーワン企業を目指す！

1. Vision ～ロングライフの不変の理念～

“グッドフィーリング”の3つの「C」で人生はどんどん楽しくなる

Culture
文化と背景

人それぞれに育った時代背景も培われた文化も異なります。生活習慣や趣味や嗜好・・・など、私たちは、個々に異なるライフスタイルや生活文化を尊重し、お客さま一人ひとりに応じた「人生と文化」の継続をサポートします。

Comfortable
心地よい空間

高齢者のADL(日常生活動作)に配慮した、安全・安心の居住環境であることはもちろん、お客さまに「心地よい」と満足していただけるような住空間を目指し、高い「クオリティ・オブ・ライフ」を追求した最上質の居住環境をご用意しています。

Care
質の高い身体ケア

私たちの考えるケアの基本はお客さまの尊厳の尊重、そして自立性や意思の尊重です。親密なコミュニケーションのもとケアプランを作り「自分のできること」は「できるだけ自分でしていただく」という方針で、「自立と自発」をサポートします。

【ロングライフの存在意義】

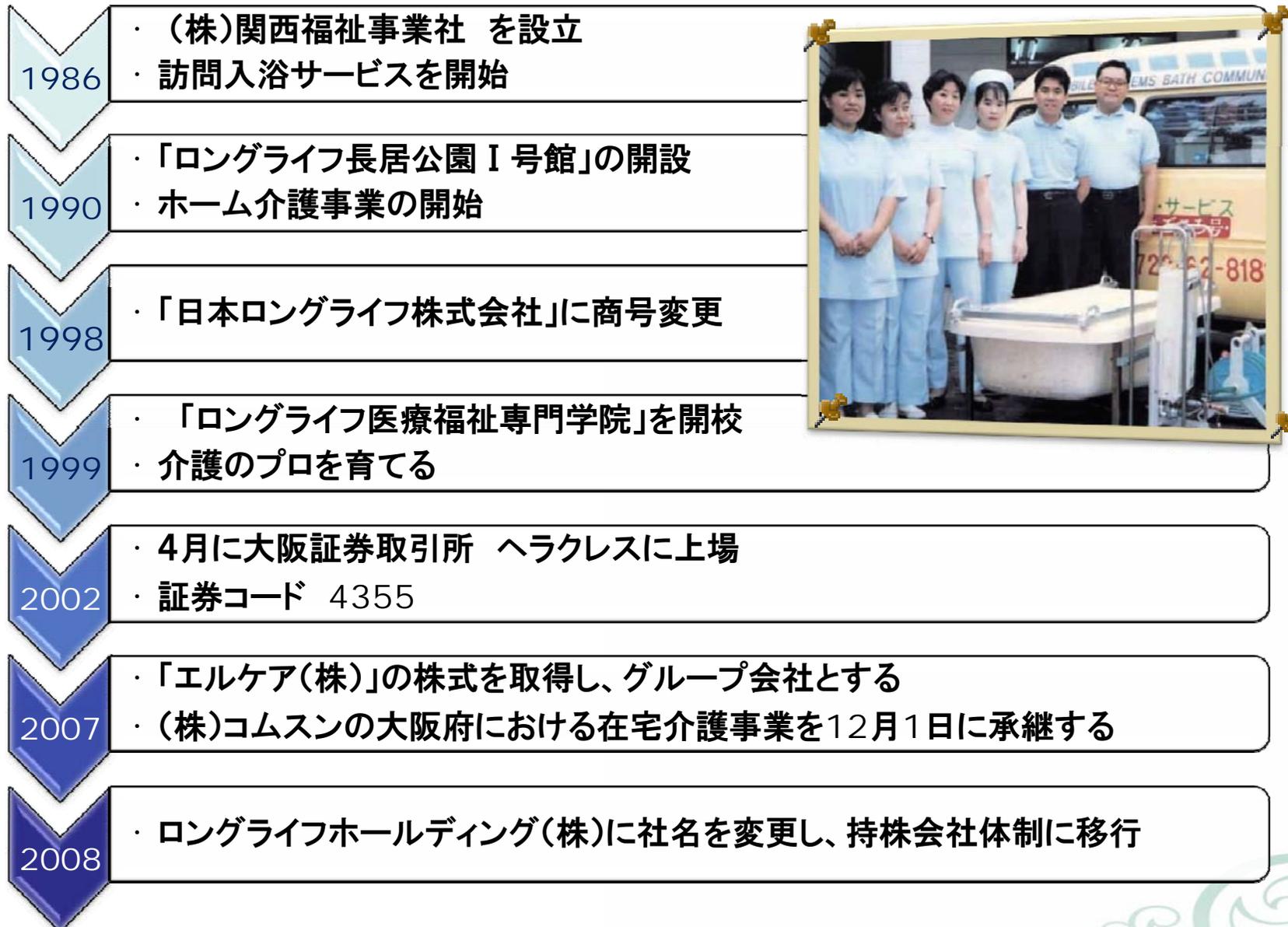
従来の「高齢者」「介護」に対するマイナス・イメージを払拭すべく、介護業界に新しい旋風を巻き起こし、将来の超高齢社会に人々が過ごしやすい社会作りに貢献する。

2. History

～究極のサービスが創られた軌跡～



2. History ～究極のサービスが創られた軌跡～



2. History ～究極のサービスが創られた軌跡～

《2008年 ロングライフホールディング株式会社として、持株会社体制に移行》

ホーム介護事業と在宅介護事業の両輪で、介護事業に集中

ロングライフホールディング (株)



日本ロングライフ (株)

…ホーム介護事業

エルケア (株)

…在宅介護事業

ロングライフダイニング (株)

…フード事業



左から:

ロングライフホールディング株式会社 常務取締役管理本部長 瀧村 明泰

ロングライフホールディング株式会社 代表取締役社長 遠藤 正一

日本ロングライフ株式会社 代表取締役社長 小嶋 ひろみ

ロングライフホールディング株式会社 代表取締役副社長 北村 政美

エルケア株式会社 代表取締役社長 米澤 孝承

3. Present

～ロングライフの現状と取組み～



3. Present ~ロングライフの現状と取組み~

【施設概要： ホーム介護事業】

2010年4月末現在

	有料老人ホーム	グループホーム	運営受託 ホーム	合計
2010年 4月	14	4	2	20

【施設概要： 在宅介護事業】

2010年4月末現在

	訪問介護	訪問入浴	訪問看護	デイ サービス	小規模 多機能	居宅支援	福祉用具	訪問歯科	合計
2010年 4月	40	5	2	8	4	27	2	10	98



3. Present ～ロングライフの現状と取組み～



【日本ロングライフ】

- ・営業強化により既存ホームの入居率を高める
- ・新サービスの提供

～シニアカレッジ、デイサロン・・・ロングライフらしさの徹底～

【エルケア】

- ・収益の拡大を図るため、事業所を増設



【全社】

- ・優秀な人材の確保と社員満足度向上
- ・新しい給与体系を導入し、社員が安心して長く働ける環境作りを行う
- ・研修制度の充実

4. Tomorrow ～ロングライフの将来～

< 2010-2014 中期経営計画 >

- ① 目的
- ② グループ数値目標
- ③ 連結子会社各社 成長に向けての戦略
- ④ 社会・環境・社員への取組み(CSR)
- ⑤ まとめ



4. Tomorrow ~ロングライフの将来~

A 目的

顧客満足の上昇を図りながら、

既存事業の収益性向上を図るとともに、

積極的に攻めの展開に入る。

5年後には、新規施設・拠点の増設により

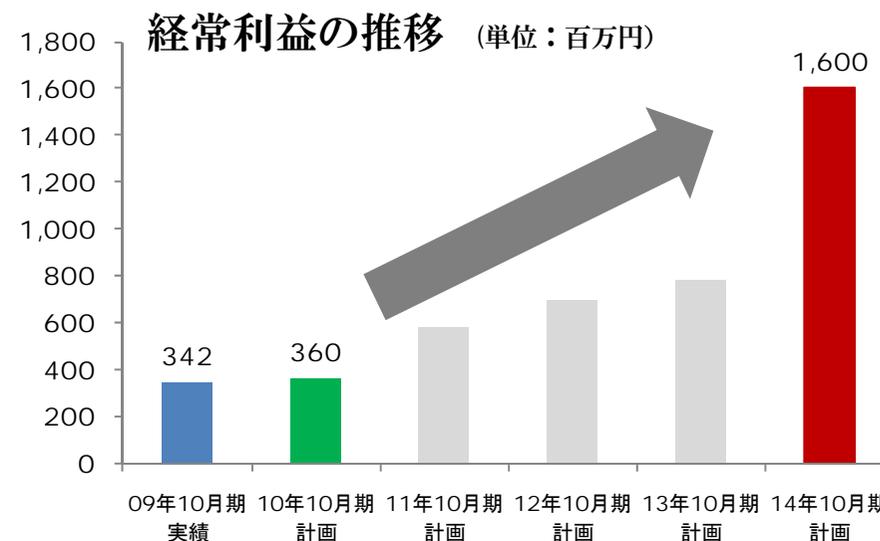
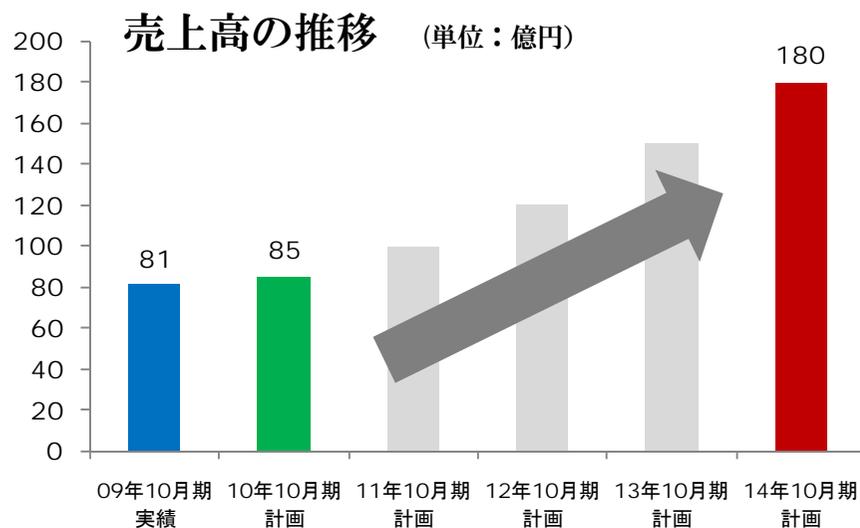
売上高180億円の企業を目指す。



4. Tomorrow ~ロングライフの将来~

B グループ数値目標

(単位：億円)	09年10月期 実績	14年10月期 目標	09年10月期 実績差
売上高	81.4	180	98.6
経常利益	3.4	16	12.6
経常利益率	4%	9%	5%



4. Tomorrow ~ロングライフの将来~

C 連結子会社各社 成長に向けての戦略



① 【日本ロングライフ株式会社】

【新設ホームの予定】

- ✦ 2011年度中 ・ロングライフ苦楽園・芦屋別邸（全居室数35室予定）
・ラビアンローズ千里山Ⅱ号館（全居室数80室予定）
- ✦ 2012年度中 ・ラビアンローズ緑地公園Ⅱ号館（全居室数40室予定）
・その他1ホーム（全居室数60室予定）現在開発中
- ✦ 2013年度年中 ・その他3ホーム（各70室予定）現在開発中



ホームサービス事業における入居率の向上による収益性の向上

- ✦ 営業力強化によるクロージング率の向上により、高入居率の達成
- ✦ 徹底して効率性を追求し、収益力アップを図る



4. Tomorrow ~ロングライフの将来~

C 連結子会社各社 成長に向けての戦略



② 【エルケア株式会社】

【新設拠点の予定】

- ✦ 5年間で80拠点を増設し、現在の拠点数と合わせ、合計140拠点以上を展開する

在宅介護事業における新規出店の戦略

- ✦ ドミナント戦略による面展開の拡大と深耕
- ✦ 拠点事業所の総合在宅拠点化



4. Tomorrow ~ロングライフの将来~

C 連結子会社各社 成長に向けての戦略



③ 【ロングライフダイニング株式会社】

【新規戦略】

- ☆ 安全で安心して召し上がっていただける食のサービスを目指して！ ☆
- ✚ セントラルキッチン開設
- ✚ 配食・宅配事業の拡充
- ✚ ケータリング事業への進出



給食事業の概要(計画)



4. Tomorrow ~ロングライフの将来~

C 連結子会社各社 成長に向けての戦略

④ 【営業体制の再構築】



新規ホーム、事業拠点の拡大に伴う大幅な増収を成し遂げるために営業基盤・体制の刷新を図る。



営業社員を充実させ、教育・管理を徹底することによる営業体制の強化を図る。

⑤ 【会社理念浸透と個々のスキルアップのための教育の強化】



お客さま満足度の最大化のために社員一人ひとりに対する会社理念の浸透及び個々のスキルアップを徹底し、サービス質の向上を図るべく社員教育を強化していく。



4. Tomorrow ~ロングライフの将来~



D 社会・環境・社員への取組み (CSR)



CSR



女性社員

- ①男女雇用機会均等法 ②女性の会社における役割の重視
- ③保育園の充実 ④出産後の現場復帰 他

雇用促進

- ①高校生の積極的な雇用 ②新卒の積極的な定期採用の実施
- ③障害者の積極的な雇用 ④外国人の雇用拡大 他

地域貢献

- ①介護相談会、歯科相談会 ②大阪市西成区釜ヶ崎での吹出しボランティア
- ③「キャラバン隊」と称して地域の清掃活動 他

人権

- ①社内でのセクシャルハラスメント・パワーハラスメントに関する通報システムがあり、風通りの良い企業風土の構築 他

適時開示

- ①適時開示を含む企業情報を的確にタイムリーに開示 ②個人投資家、機関投資家、報道関係者等隔たりのない開示 他

人財教育

- ①研修制度の充実・社会に有意義な人財の育成 ②難波研修センターおよび岡山研修センターを活用し、研修に注力 他

組織統治

- ①コンプライアンスの体制整備と徹底 他

『 心ころが動けば からだが動く 』



ロングライフホールディング株式会社